

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	商店街空き店舗有効活用事業				会計	款	項	目	大事	小事
					01	07	01	02	02	53
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）			主管課	商工振興課				
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化			主管課長	渋谷 俊之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	創業者及び創業予定者並びに空き店舗を抱える商店街	意図	商店街の活性化と新規開業を促進する。
事業内容	地域経済の振興と市内商店会の活性化を図るため商業団体が行う商店街空き店舗有効活用事業及び商業活性化アドバイザー派遣事業の一部に対して補助を行い、にぎわいを創出する。			
事業開始から現在までの状況変化	産業競争力強化法の施行により、平成26年10月31日付けで流山市は創業支援事業計画の認定を総務大臣・経済産業大臣より受けた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	補助対象事業数	1	5	6	件	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		
	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等に係る相談件数は、増加傾向にある。 ・引き続き、商工会議所との連携や情報の共有、他の支援団体である、千葉県信用保証協会、㈱日本政策金融公庫、市内金融機関などとの連携を進め、市内空き店舗の有効活用を図る。 		

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	3,132,000	5,566,400	4,970,400
事業費(b)(円)	1,759,000	4,224,000	3,652,000
うち一般財源	1,759,000	4,224,000	3,652,000
職員給与と費(c)(円)	1,373,000	1,342,400	1,318,400
人役・職員(人)	0.20	0.20	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	開業後における経営サポートや経営指導の強化	③取組における課題(Check)	創業計画書と開業後の収支計画書の乖離による経営指導
②H30に実施した取組(Do)	補助金対象事業者を対象に、商工会議所経営指導員とともに経営指導を行い、継続的な経営が行われるよう助言・指導を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	創業計画の実効性担保のための事前審査、指導及び補助金制度終了後の経営指導